

議会報告会報告書

開催日時	令和元年11月13日(水)午後7時00分～8時42分		
開催場所	産業振興センター		
委員会名	建設水道委員会		
出席議員	坂口秀夫委員長 市野幸男副委員長 田中正浩 大平 勇 濱口高志 中島清晴 西村友志		
	司会進行者	西村友志	
	報告者	第1部：田中正浩 第2部：中島清晴	
	記録者	濱口高志	
参加人数	第1部 24名 第2部 24名		
第2部形式	スクール形式		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 大平 勇 様

令和元年 11月 21日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

建設水道委員会

委員長 坂口 秀夫

第1部

【主な質疑応答・意見等】

問 空家対策で、空家の分類はどの程度進んでいるのか。

答 危険空家の指定には至っていない。空家を「そのまま住めるもの」、「修理すれば住めるもの」、「修理が無理で取り壊すしかないもの」への分類は完了している。

第2部【テーマ名 駅西再開発について】

【主な質疑応答・意見等】

(スクール形式)

意見・駅前は道路が狭いので、もっと広げてほしい。今のままでは何かをつくっても混雑するだけである。

- ・デパ地下や日用品を扱うディスカウントストアのような店がなくなり、自転車で行動する者には不便である。にぎわいより市民生活の必需品を駅前だけで調達できるようにしてほしい。
- ・駐車場を減らさないでほしい。また、5～10分停車できる場所もほしい。

問 170haが対象なのか。

答 駅西の市有地約1haが対象。

意見・全国で駅前再開発が成功した事例を研究してほしい。

- ・ベルタウンも今回の計画に入れてはどうか。4つの商店街の意見を聞いたほうがよい。
- ・前回の再開発には反対した。駅前マンションは久居を想像してしまう。開発して利用価値があるかが心配である。
- ・前回もワークショップで夢を語ったが頓挫した。財政の裏付けがなければ、夢物語となる。財政に支障がない程度でやってほしい。
- ・コンサルに将来の松阪市を見通せる実力があるのか疑問。それより全国各地の駅前開発の成功例を研究したほうがよい。例えば、水戸市、高知市、鳥取市の駅前にはよかった。これと比べると松阪市は寂しい。豪商のまちとして、歴史と文化があり、夢をもって開発に携わってほしい。
- ・駅前にマンションを建て、多数人が集まり生活圏が形成されたとしても、今の店舗でやっていけるのか。駅西だけ開発しても無理だと考える。
- ・駅西地区複合施設の構想が、10年前の「再開発」の考え方と全く変わっていないように感じる。
- ・にぎわっている所は「水」を使った安らぎの空間がある。滞在できるような場所として公園をつくってほしい。
- ・名古屋方面に電車で通っている人が多く、駐車場は必要である。
- ・肉を食べられる所も飛び飛びにあり、観光客にわかりにくい。焼肉タウンというようにまとまった所がほしい。
- ・会津若松市や岐阜市の駅前は広くてよかった。

- ・駅の両側に立体駐車場が必要である。
- ・近鉄、JR地下通路をペデストリアンデッキ方式にしてみてもどうか。
- ・複合施設の1階・2階は店舗、3階は行政、4階以上はマンション・事務所が入るのがよい。
- ・カリヨンビルを日本橋の三重テラスのように活用してはどうか。国道42号線、166号線沿線の市町の物産を置き、交流の場としての活用を考えてみてはどうか。
- ・駅ビルは必要ない。それより商店街を元気にしてほしい。元気の指標は売上高。しかし、日常の買い物は商店街ではせず、ショッピングモールへ行く。市外の人（観光客）に買ってもらうようにすればいい。
- ・駅から御城番まで楽しく歩ける町並みが必要。
- ・豪商のまちをメインにして観光のまちにしてほしい。
- ・アンティークな看板や、病院のように地面に矢印で行先を書くなりわかりやすい案内に努めてほしい。